



～模擬授業（2年国語）～

今回、2年3組の授業をもらい『短歌』の単元で、研究テーマに沿った単元（授業）計画を作り、実施しました。

①生徒に身につけさせたい力

物事に対する捉えを抽象的な表現で終えるのではなく、視点や観点を絞ってより分析、言語化する力

②今回の単元『短歌』では？

短歌が今もなお詠まれる理由を【31音という少なさが、読み手に想像させ、面白さがある】という抽象的な捉えに終わらず、現代では当たり前にあるショート動画と比較して、短歌の良さを分析、また詠まれる理由を【登場人物】【アングル】【時間】という3つの視点から選び考える

授業自体は構造化された探求といえる。（結論）を自由に！

探求は「自由にさせること」ではない

開かれた探究に一気に進む必要はない。教師の支え方を段階化する。					
		問い	手順	結論	校内研究
確認する探究	結果が既知の活動で原理を確認する	○	○	○	基礎知識を確実に習得できているか
構造化された探究	問いと手順を教師が示す	○	○		結果の意味を考察させているか
導かれた探究	問いは教師、方法は生徒が考える	○			単元の山場で使えているか（使う場を設けているか）
開かれた探究	問いも方法も生徒がつくる				十分な準備がある単元で限定的に扱えているか

焦点：小さな探究を、単元のどこに、どの段階で置くか。

③具体的な姿は？

姿①（情報の選択・活用）：

短歌が今もなお詠まれる理由を考える際に提示された【人】【カメラ】【時間】という3つの視点から、自分がこれまでの活動で最もこだわって集めた情報を自分で選択し、正しい使い方アプローチできる。

姿②（表現メディアの比較分析）：

自分が作った「情報量が多い動画・日記」と、歌人が作った「情報が削ぎ落とされた短歌」を天秤にかけ、表現方法の違いによる効果を考えて取り組むことができる。

姿③（批判的思考による説明）：

「もしその技法や言葉をナシにしたら（普通の文にしたら）どうなってしまいか」という批判的な表現を使い、表現技法がもつ効果について自分の言葉で説明できる。

北口先生が以下の予定で授業を行なっていきます。第1時の授業が単元の導入や全体像を生徒と共有します。よければ見に来てください。

	2年1組	2年2組	2年4組
第1時	25日6限	24日3限	25日4限
第2時	29日5限	26日2限	29日3限
第3時	7月2日3限	29日2限	7月2日5限
第4時	3日5限	30日5限	2日6限
第5時	6日4限	7月1日3限	6日1限